別紙様式45　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【令和７年度定例報告用】

回復期リハビリテーション病棟入院料及び特定機能病院リハビリテーション病棟入院料におけるリハビリテーション実績指数等に係る報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 保険医療機関コード |  |
| 保険医療機関名 |  |
| 郵便番号 |  |
| 住所 |  |
| 報告年月日 |  |
| 直近の報告年月日 |  |
| 届出入院料 | □　回復期リハビリテーション病棟入院料  □　特定機能病院リハビリテーション病棟入院料 |

※（特定機能病院リハビリテーション病棟入院料を届け出ている場合は、以下における「回復期リハビリテーション病棟入院料」を「特定機能病院リハビリテーション病棟入院料」と読み替えること。）

１．退棟患者数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ① |  | ６年10 月 | ７年１月 | ７年４月 | ７年７月 |
| ② | 前月までの６か月間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 |

２．１日当たりのリハビリテーション提供単位数

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ① |  | | ６年10月 | ７年１月 | ７年４月 | ７年７月 |
| ③ | 前月までの６か月間に回復期リハビリテーション病棟に入院していた回復期リハビリテーションを要する状態の患者の延べ入院日数 | | 日 | 日 | 日 | 日 |
| ④ | 前月までの６か月間に③の患者に対して提供された疾患別リハビリテーションの総単位数（ⅰ＋ⅱ＋ⅲ＋ⅳ＋ⅴ） | | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| 再掲 | ⅰ | 前月までの６か月間に③の患者に対して提供された心大血管疾患リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| ⅱ | 前月までの６か月間に③の患者に対して提供された脳血管疾患等リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| ⅲ | 前月までの６か月間に③の患者に対して提供された廃用症候群リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| ⅳ | 前月までの６か月間に③の患者に対して提供された運動器リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| ⅴ | 前月までの６か月間に③の患者に対して提供された呼吸器リハビリテーションの総単位数 | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |
| ⑤ | １日当たりのリハビリテーション提供単位数（④／③） | | 単位 | 単位 | 単位 | 単位 |

３．リハビリテーション実績指数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ① |  | ６年10月 | ７年１月 | ７年４月 | ７年７月 |
| ⑥ | 前月までの６か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑦ | ⑥のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑧ | ⑦の患者の退棟時のＦＩＭ得点（運動項目）から入棟時のＦＩＭ得点（運動項目）を控除したものの総和 | 点 | 点 | 点 | 点 |
| ⑨ | ⑦の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和 |  |  |  |  |
| ⑩ | リハビリテーション実績指数（⑧／⑨） | 点 | 点 | 点 | 点 |

４．除外患者について（届出の前月までの６か月について以下を記入する。）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ⑪　届出の前月までの６ヶ月 | ７年１月 | ７年２月 | ７年３月 | ７年４月 | ７年５月 | ７年６月 |
| ⑫　入棟患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑬　高次脳機能障害患者が退棟患者数の４０％以上であることによる除外の有無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 |
| ⑭　⑬による除外がある場合は除外後の入棟患者数（⑬が有の場合のみ） | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑮　リハビリテーション実績指数の計算対象から除外した患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑯　除外割合  （⑮÷（⑫又は⑭）） | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ |

５．高次脳機能障害患者が４０％以上であることによる除外について（⑬が有の場合には、それぞれ⑪の７か月前から前月までの６か月間の状況について記入。）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ※（　　）にはそれぞれ⑪の前月を記載 | ６年12月までの  ６か月 | ７年１月までの  ６か月 | ７年２月までの  ６か月 | ７年３月までの  ６か月 | ７年４月までの  ６か月 | ７年５月までの  ６か月 |
| ⑰　６か月間の退棟患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑱　⑰のうち、高次脳機能障害の患者数 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| ⑲　高次脳機能障害患者の割合  （⑱÷⑰） | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ |

６．前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施

（あり　・　なし）

[記載上の注意]

１．①については、毎年７月に報告する際には、前年10月、当該年１月、４月及び７月について記入する。別の月に報告する際には、報告を行う月及び報告を行う月以前で１月、４月、７月及び10月のうち直近の月について記入する。ただし、新規に当該入院料の届出を行うなど、当該月について算出を行っていない項目については、記入は不要である。

２．②はリハビリテーション実績指数の計算対象となったものに限る。

３．④は選定療養として行われたもの及びその費用が回復期リハビリテーション病棟入院料に包括されたものを除く。

４．⑫は入棟時に回復期リハビリテーションを要する状態であったものに限る。

５．⑮の除外患者数は、入棟日においてＦＩＭ運動項目の得点が20点以下若しくは76点以上、ＦＩＭ認知項目の得点が24点以下、又は年齢が80歳以上であったことによりリハビリテーション実績指数の計算対象から除外したものに限る。

６．⑯の除外割合は、⑬が「有」の場合は⑮÷⑭、「無」の場合は⑮÷⑫とする。

７．⑰は在棟中に回復期リハビリテーション病棟入院料を算定した患者に限る。

８．⑬、⑱、⑲の高次脳機能障害とは、「基本診療料の施設基準等」別表第九に掲げる「高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合」に該当する、回復期リハビリテーション入院料が算定開始日から起算して180日以内まで算定できるものに限る。

９．「前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施」については「あり」又は「なし」の該当するものを○で囲むこと。